TRAIL-RUNNING FORUM 2016

報告1 ENTRE /Photos

1月11日、北は北海道旭川から南は沖縄国頭村まで、全国200名以上のランナー、大会主催者、ジャーナリストなどが集って、トレランの将来を語り合いました。詳細な報告は次回に譲るとして、まずは当日のフォトブックをごらんください。

8時30分〜
ウォーミングアップ。〈TEAM SALOMON＆鏑木毅・石川弘樹モーニングランニングセッション〉です。小川壮太さん、大瀬和文さん、松本大さんという豪華ナビゲーターのもとCITY TRAILをコンセプトに40名の参加者が会場の東京海洋大学キャンパス周辺を走りました。

10時30分〜
協会代表理事・山西哲郎の挨拶に続いて副代表・石川弘樹によるスピーチ〈日本のトレイルランニングの歩み〉でした。この後、同副代表・鏑木毅のスピーチ〈日本のトレイルランニングの現状と課題〉が続きました。

11時〜
討論会です。
〈日本トレイルランニングのめざす道・どうして組織が必要なのか〉を3つの団体の代表がそれぞれの組織の説明とともに論を進めました。日本スカイランニング協会代表の松本大さんから「そもそもトレイルランニングの定義とは？」と重要な質問がありました。

日本のトレイルランニング発展のために協力し合うことを誓う討論会パネリストたち。

左より日本トレイルランナーズ協会副代表の鏑木毅、石川弘樹。中央は日本トレイルランニング会議会長の杉本憲明、右隣は同理事長の宮地由文。右端は日本スカイランニング協会代表の松本大。

12時15分〜
ランチタイムです。トレイルランナーの間で話題のヴィーガンフード『ウルトラランチ』を希望者に予約販売しました。肉を使わないタコライスと温かなスープというヘルシーなメニューでした、好評でしたよ。

13時30分〜
午後は意見交換会です。
A）〈大会のルールって何だろう？〉大会ガイドライン委員会
B）〈魅力とリスクは紙一重〉安全マナー委員会
C）〈トレランは地域活性化に役立つのか？〉地域コミュニケーション委員会

D）〈トレラン報道のための基礎知識〉広報・イメージアップ委員会。

この4つのテーマに分かれ、それぞれ4会場で意見交換会を進めました。参加者は自由に興味のあるテーマの会に出席でき、そこで意見を発表しました。

15時10分〜
意見交換のあと、再び大講義室へ。午前中のシンポジウムを受けて参加者から募った質問に理事が回答。またテーマ別意見交換会の結果を各会代表が報告しました。そして山西哲郎による大会総括で終了。はい、全員で記念撮影！